

5種混合(DPT-IPV-Hib)、4種混合(DPT-IPV)、

3種混合(DPT)、2種混合(DT)

1 接種の対象者、接種回数及び接種方法

区 分		対 象 年 齢	接種間隔	接種回数
5種混合	1期 初回	福山市に住民票がある生後2か月から90か月(7歳6か月)に至るまでの間にある者 (標準的な接種開始月齢は生後2か月から7か月に至るまで)	20日以上 (標準的には 56日までの 間隔)	3回
	1期 追加	(同上) (標準的な接種時期は1期初回接種(3回)終了後、6か月～18か月に至るまで)	1期初回 接種(3回) 終了後、 6か月以上	1回
4種混合 ・ 3種混合	1期 初回	福山市に住民票がある生後2か月から90か月(7歳6か月)に至るまでの間にある者 (標準的な接種時期は生後2か月～12か月に至るまで)	20日以上 (標準的には 56日までの 間隔)	3回
	1期 追加	(同上) (標準的な接種時期は1期初回接種(3回)終了後、12か月～18か月に至るまで)	1期初回 接種(3回) 終了後、 6か月以上	1回
2種混合	2期	福山市に住民票がある11歳以上13歳未満の者 (小学校6年生等) (標準的な接種時期は11歳)	—	1回

注) 生ポリオワクチン又は不活化ポリオワクチンを必要回数接種完了し、3種混合ワクチン(DPT)の接種が完了していない場合は、4種混合ワクチンまたは5種混合ワクチンを使用してください。なお、4回を超える不活化ポリオワクチンの接種後の有効性及び安全性は確認されています。

※ 未接種に対しては、5種混合ワクチンで接種を開始してください。

※ 4種混合ワクチンまたはヒブワクチンを既に接種している者への接種は、原則として4種混合ワクチンとヒブワクチンを使用してください。ただし、4種混合ワクチンの市場流通が終了した場合において、4種混合ワクチンの接種が完了していない場合は、接種した回数に応じて、残りの回数を5種混合ワクチンに切り替えて接種を継続してください。(この際、ヒブワクチンの回数によらず5種混合ワクチンで接種することができます。また、3種混合ワクチンおよび不活化ポリオワクチンの接種も可です。)

※ 3種混合ワクチンは、限定出荷の状態にあり、他の定期接種のように本市が入札によりワクチンを確保できる状態にないことから、医療機関が卸業者から必要最低限の範囲で直接購入し、実施いただきますようお願いいたします。

※ 「長期療養が必要な疾病などで定期の予防接種の機会を逸した者に対する特例」については、『定期接種実施マニュアル』を参照してください。

※ 1期の対象者に2種混合ワクチン(DT 混合トキソイド)を接種する必要がある場合は、事前に保健予防課にご相談ください。

※ 既罹患患者については、未罹患疾病の予防接種を実施するために、既罹患疾病に対応するワクチン成分を含んだ混合ワクチンを接種することが可能です。

2 接種方法

(1) 5種混合の1期初回及び1期追加

接種1回につき0. 5ml を皮下接種または筋肉内接種

(2) 4種混合 **及び3種混合**の1期初回及び1期追加

接種1回につき0. 5mlを皮下接種

(3) 2種混合の2期(小学生6年生等)

接種1回につき0. 1mlを皮下接種(接種量にご注意ください。)

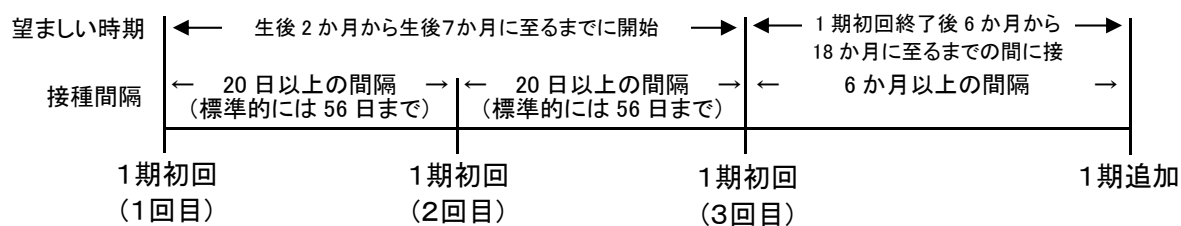
※ 接種量が多過ぎると、副反応が強くなる可能性があります。

【接種の基本的なパターン】

<1期>

5種混合ワクチン、4種混合ワクチン、3種混合ワクチン

生後2か月から90か月に至るまでの間に4回接種



<2期> 11歳から13歳未満までの間(望ましい時期は、11歳)に2種混合ワクチンを1回接種